

レプタイルズフィーバー2026 Winter 生体の保管と脱走防止について



レプタイルズフィーバーは、生体を逃がした出展者にペナルティを課します。
場合によっては、即刻営業停止や出展禁止処分などの対応を取ります。

生体の脱走が発生すると会場を利用できなくなり、イベント開催が困難になる可能性があります。

生体販売を行う出展者は、レプタイルズフィーバーが設ける下記①～④のルールを必ず遵守してください。ルールに違反した場合や、協力を拒んだ場合には、即刻営業停止や出展禁止処分などのペナルティを課す場合があります。

本イベントの継続的な開催のため、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

① 生体が脱走した場合

生体を逃がした出展者は、今後1年間（次回・次々回）の出展資格を失います。

- 「生体の脱走」に関する事務局の判断に対して、出展者は異議や取消を申し出ることはできません。
- 脱走の状況を事務局で協議した結果、上記の対応を撤回する場合があります。
- 脱走の状況によっては、会期中であっても即刻営業停止となる場合があります。なお、営業停止によって出展者が要した費用や被った損害について、事務局は一切の責任を負いません。その際、出展料金は返金しません。
- 屋号やブランド名を変更しても、事務局が当該出展者であると判断した場合は出展できません。

② 生体が発見されない場合

脱走した生体が見つからない場合や、来場者に危険が及ぶ可能性がある場合は、イベント全体を中止または一時中断することがあります。

- 中止もしくは中断によって、事案を起こした出展者および他の出展者が要した費用や被った損害について、事務局は一切の責任を負いません。その際、出展料は返金しません。

③ 生体保管チェック 重要

2月20日（金）の搬入後および2月21日（土）の閉場後、生体の保管状況をチェックするため、事務局がすべての生体販売ブースを巡回します。その場には必ず、出展者の立ち会いが必要です。

- 活き餌および生体の販売を行う出展者は、片付け作業終了後、必ずスタッフに申し出てください。事務局が順番にブースを訪問します。
- 当日、生体をブース内に残さない場合もチェックの対象となります。
- チェックを受けずに帰られた場合、累積2回で、次回および次々回の出展資格を失います。
- チェック時に不備が見つかった場合、その場では正措置を取っていただきます。
- チェック時に出展者がブースにいない場合、事務局の判断により、容器をテープ等で補強することがあります。
- チェック後であっても、生体が脱走した場合の管理責任は出展者にあります。

2月20日（金）搬入日	搬入作業終了後～18:30 出展者退館時間
2月21日（土）会期	17:00 閉場後～18:30 出展者退館時間

④ 生体の保管および脱走対策の方法について

▶ プリンカップ、パックケースなどに入れて販売する場合

● 販売容器の取り扱いの注意

- ・容器ごとに、蓋を新しいテープやホッチキスなどでしっかりと留めてください。
- ・ヘビが入った容器は、特に厳重に留めてください。（サイズにより4~10か所）
- ・通称「やきそばパック」での生体展示および販売は禁止します。

● 特に厳重な注意が必要なもの

- ・コオロギ、デュピアなどの活き餌
- ・サソリ、ムカデ、クモなど有毒の昆虫類

● ブースを離れる際（搬入作業終了後および閉場後）は、二重梱包が必要です

- ・すべての容器をバッカルコンテナや衣装ケースに入れ、蓋をロックしたりテープを貼るなどして、しっかりと固定してください。
- ・バッカルコンテナや衣装ケースの空気穴は、生体が逃げ出さない大きさにしてください。
- ・段ボールの使用は原則禁止します。
- ・会場に残して帰る生体（昆虫・活き餌・両生類を含む）は、すべて机上に置いてください。

二重梱包のイメージ

GOOD バッカルコンテナや衣装ケースなどに入れ、蓋をしっかりと固定してください。



✗ NG

テープの隙間などから脱走する可能性があるため、段ボールは使用しないでください。

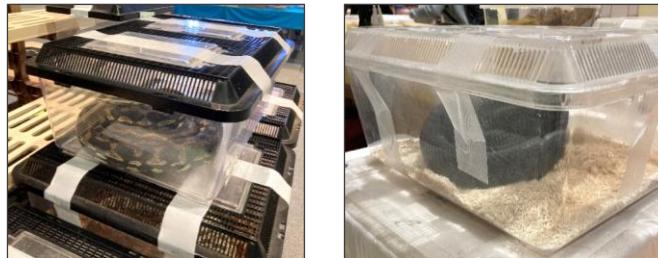


▶ アクリルケースに入れて販売する場合

- ・カギで施錠してください。
- ・カギがない場合は、テープでしっかりと留めるなど、脱走対策を徹底してください。

▶ プラスチック容器に入れて販売する場合

- ・搬入作業終了後および閉場後は、フタで覆いテープで留めるなど、脱走対策を徹底してください。
- ・デグーなど歯の強い齧歯類は、プラスチック容器での販売はできません。必ずゲージなどを使用してください。



▶ 鳥かご、ケージ、バリケンに入れて販売する場合（哺乳類・鳥類など）

- ・本体付属のカギ以外にも、ナスカン、結束バンド、南京錠などで確実に施錠してください。
- ・生体を移動させる場合は2人1組で作業するなど、脱走対策を徹底してください。



細い針金は噛み切られる可能性があります。
丈夫な針金を使用してください。

▶ ケージなどに入れず、止まり木に係留して販売する場合（鳥類など）

- ・リーシュ、ジェス、アンクレットの状態を確認し、パーチなどの係留台に確実に繋いでください。
- ・生体を移動させる場合は2人1組で作業するなど、脱走対策を徹底してください。

▶ 活き餌（コオロギ・デュピアなど）を販売する場合

- ・会場内および会場周辺で、活き餌を販売容器に移すことは厳禁です。事前に容器に移した上で搬入してください。
- ・「販売する生体用のエサ」として持ち込んだ活き餌の脱走も、生体の脱走と同等に扱います。

▶ その他

- ・生体が蒸れたり、窒息したりするような、**生体の体調を悪化させる容器の使用は禁止します。**
- ・生体の体調に異変があった場合も、事務局は一切の責任を負いません。

生体が逃げ出す恐れがあると事務局が判断した場合は、事務局の指示に従ってください。ここに記載のない状況や、ご不明な点がある場合は、事務局までお問い合わせください。

脱走しやすい種類

種類	脱走の状況	特徴
陸ガメ 水ガメ	・パワーがあり、プラケースの蓋などを押し上げてしまう。 ・プリンカップなどをなぎ倒してしまう。	・脱走の事例が、各地で多数ある。 ・小さい生体を捕食する可能性がある。
小型のヘビ	・小さいため、隙間から出てしまう。	・とにかく見つけにくく、発見に至らない確率が高い。 ・弁当パックでの脱走事例が多い。
中型のヘビ	・パワーがあり、プリンカップやプラケースの蓋を、筋肉の収縮で開けてしまう。	・発見は比較的容易だが、発見時の状況によっては大騒ぎになることが予想される。
齧歯類	・歯が強く、ケースに穴を開けてしまう。 ・結束バンドを噛み切る。 ・力が強く、周りのケースを倒してしまう。	・電線をかじることで、漏電の危険性がある。 ・他店の生体に害を及ぼす可能性がある。
虫	・小さいため、隙間から出てしまう。	・特に有毒種の場合、必ず発見しなければならない。場合によっては、全館駆虫を実施する必要がある。

過去の事例



パック内のヘビが脱走

- 原因)
- ・留めたテープがゆるかった
 - ・二重梱包していなかった



二重梱包していたヘビが脱走

- 原因)
- ・フード用のパックを使用していた
 - ・留めたテープが剥がれやすかった
 - ・二重梱包のダンボールは真ん中だけがテープ留めされていて、両サイドは隙間が開いていた。

